

- 
- 序 論
 - 基本構想
 - 基本計画
 - 目標指標
 - 資 料

第1章 計画の策定にあたって

第1節 計画策定の趣旨

平成16年（2004年）10月の合併により「七尾市」が誕生し、平成21年（2009年）3月に策定した「第1次七尾市総合計画」で将来像に掲げた「人が輝く交流体感都市」の実現に向け、様々なまちづくりの取り組みを進めてきました。

しかし、計画策定から10年が経過する中で、少子高齢化の進展、地方における人口減少、中山間地域の荒廃、空家・空地の増加など、数多くの新たな課題への対応が求められています。

こうした中、のと里山空港の開港、北陸新幹線金沢開業、のと里山海道の無料化、能越自動車道の延伸など広域交通網の充実により、本市の拠点性は飛躍的に高まっており、さらには、日本で初めて世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」、ユネスコ無形文化遺産に登録された「青柏祭の曳山行事」など、七尾市の魅力が世界から評価される機運が高まってきています。

そこで、本市の魅力を最大限に活かしながら、市民が将来にわたって安心して住み続けたいと思えるまちづくりを進めるために、今後10年間のまちづくりの基本的な方向性を示した、「第2次七尾市総合計画」を策定するものです。



第2節 計画の期間と構成

(1) 計画の期間

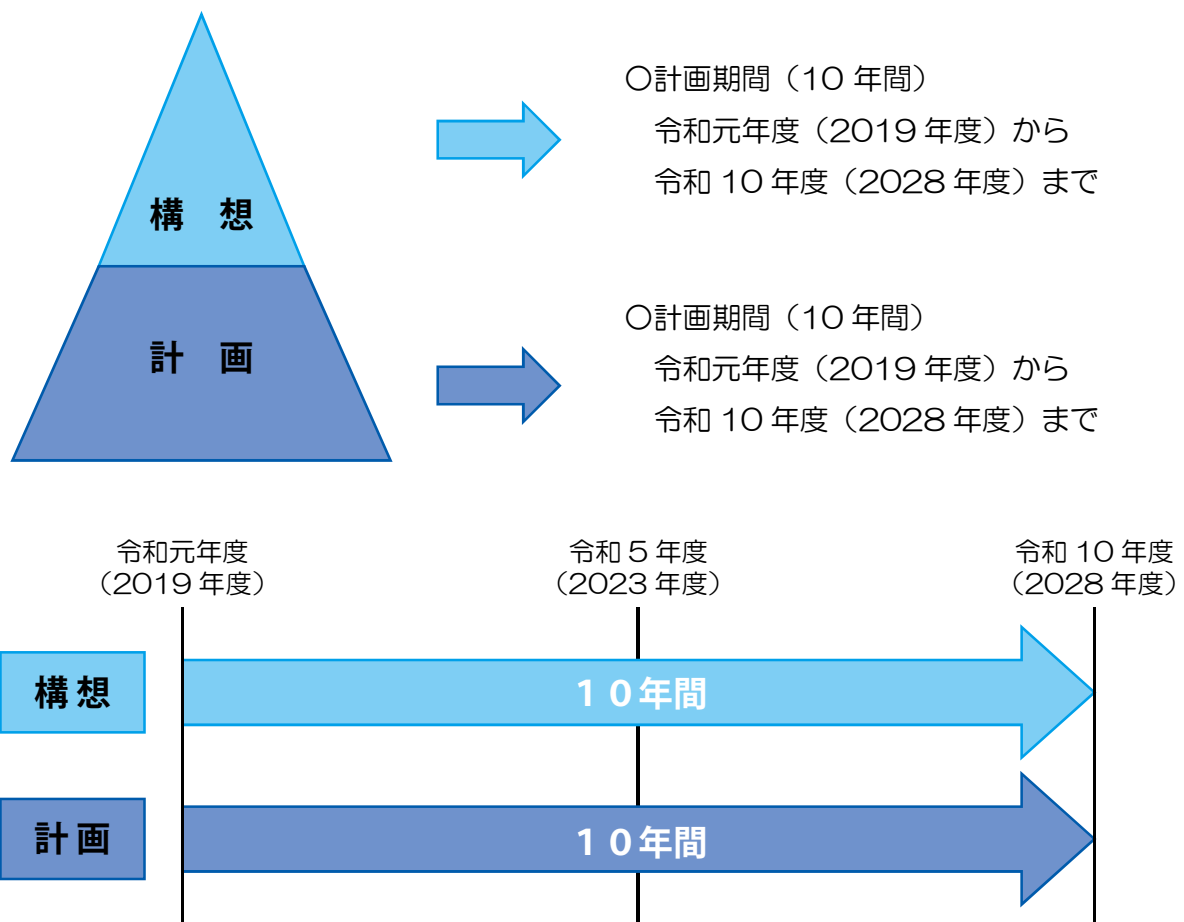
総合計画の期間は、令和元年度（2019年度）から令和10年度（2028年度）までの10年間とします。

(2) 計画の構成

総合計画は、基本構想と基本計画で構成します。

- ①基本構想は、まちづくりの基本理念と目指す将来像を掲げ、その実現のためのまちづくりの目標を示すものです。
- ②基本計画は、基本構想で示したまちづくりの目標を実現するための施策の方向性を具体化し、各分野別の施策を体系的に示すものです。

七尾市総合計画は、「基本構想」、「基本計画」の2つの部門で構成します。



第2章 七尾市の概況

(1) 位置・地勢

七尾市は、石川県の北部、能登半島の中央に位置しており、北は穴水町、西は志賀町、南は中能登町及び富山県氷見市と接しています。市の中心部には七尾西湾、七尾南湾が広がり、北に能登島が浮かび、東は富山湾に面しています。

七尾南湾に臨む七尾港周辺に市街地が展開し、東西は山地に挟まれ、南は平野が広がっています。日本海と七尾湾の海岸線、山並みが重なり合い、美しい自然景観を創り出しています。

(2) 面積

市域面積は、318.29 km²で、東西約 24 km、南北約 26 kmにわたっています。

地目別の土地利用状況は、農地が約 34.3%、宅地が約 9.1%、山林・その他が約 56.6%となっています。

(3) 気候

冬季に降水量が多い日本海側特有の気候となっています。年間平均気温は約 14.2℃で、年間降水量は約 1,978mmとなっています。

(4) 沿革

明治 22 年 4 月… 鹿島郡七尾町、南大呑村、北大呑村、崎山村、東湊村、矢田郷村、徳田村、西湊村、石崎村、高階村、端村、田鶴浜村、赤蔵村、相馬村、金ヶ崎村、西岸村、熊木村、中島村、豊川村、笠師保村、東島村、中乃島村、西島村、羽咋郡鉾打村が町村制を施行。

昭和 9 年 6 月… 端村、田鶴浜村、赤蔵村の合併により和倉町が成立。

昭和 14 年 7 月… 七尾町、徳田村、矢田郷村、東湊村、西湊村、石崎村と和倉町の字和倉、奥原が合併し、七尾市制施行。
和倉町は字和倉、奥原を除き田鶴浜町として改称。

昭和 29 年 3 月… 南大呑村、北大呑村、崎山村、高階村が七尾市に編入。
田鶴浜町、相馬村、金ヶ崎村の合併により新たな田鶴浜町制施行。
西岸村、熊木村、中島村、豊川村、笠師保村、鉾打村の合併により中島町制施行。

昭和 30 年 2 月… 東島村、中乃島村、西島村の合併により能登島町制施行。

平成 16 年 10 月… 七尾市、田鶴浜町、中島町、能登島町の 1 市 3 町の合併により現在の七尾市が誕生。

(5) 人口・世帯数

七尾市の人口は減少傾向にあり、平成27年（2015年）には、55,325人となっています。年齢構成別の推移をみると、高齢者数（65歳以上）が増加し、年少人口（15歳未満）が減少しており、少子高齢化が急速に進行しています。

また、平成27年（2015年）の世帯数は、20,855世帯であり、平成17年（2005年）をピークに減少傾向にあります。さらに、1世帯当たりの人員も減少を続けており、平成27年（2015年）には2.7人となっています。

人口と世帯数（国勢調査）

（単位：人、世帯）

	H7 (1995)	H12 (2000)	H17 (2005)	H22 (2010)	H27 (2015)
総人口	67,368	63,963	61,871	57,900	55,325
・年少人口：15歳未満	10,723	9,167	8,023	6,932	6,041
・生産年齢人口：15～64歳	43,087	39,613	37,418	33,807	29,571
・老年人口：65歳以上	13,556	15,090	16,423	17,118	18,940
（65～74歳）	7,906	8,363	7,966	7,717	9,400
（75歳以上）	5,650	6,727	8,457	9,401	9,540
世帯数	20,799	21,066	21,402	20,944	20,855

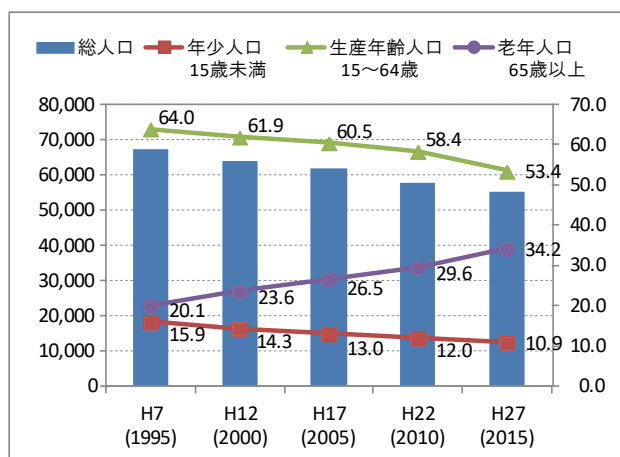
※総人口には、年齢不詳の人口含む

人口の割合（国勢調査）

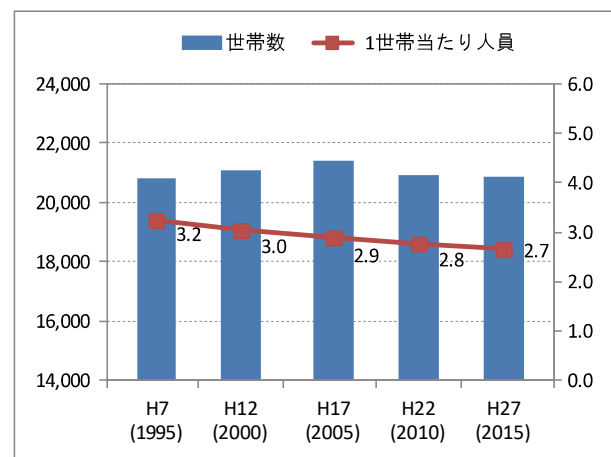
（単位：%）

	H7 (1995)	H12 (2000)	H17 (2005)	H22 (2010)	H27 (2015)
・年少人口：15歳未満	15.9	14.3	13.0	12.0	10.9
・生産年齢人口：15～64歳	64.0	61.9	60.5	58.4	53.4
・老年人口：65歳以上	20.1	23.6	26.5	29.6	34.2
（65～74歳）	11.7	13.1	12.9	13.3	17.0
（75歳以上）	8.4	10.5	13.7	16.2	17.2

人口の推移



世帯数の推移



第3章 まちづくりに関する市民意識

第1節 調査の概要

七尾市における将来のまちづくりに関して、市民のニーズや意見を把握するため、平成29年（2017年）9月から10月にかけて、20歳以上の市民から3,000人を無作為に抽出し、「市民アンケート」を実施しました。

（配布数3,000通、回答数922通、回答率30.7%）

アンケート調査を総括すると、市民のまちづくりに対する意識は、以下のよう
に整理されます。

第2節 調査結果まとめ

市民は、約7割が「住みやすい」としてはいますが、暮らしの満足度は半数に満たず、特に、企業誘致・雇用対策と子育て支援を中心に、若年層が安心して暮らせる環境づくりが求められています。

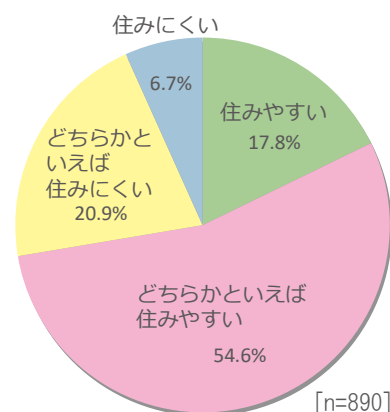
また、賑わい創出やスポーツ、芸術・文化振興策は施策のあり方や改善が望まれる一方、医療・福祉や社会基盤整備等については一定の評価を得ています。

今後は、行財政に対する健全化・効率化が求められる中で、市民の負担は現状の範囲に収めつつ、施策の選択と集中によるまちづくりが求められています。

第3節 個別調査結果

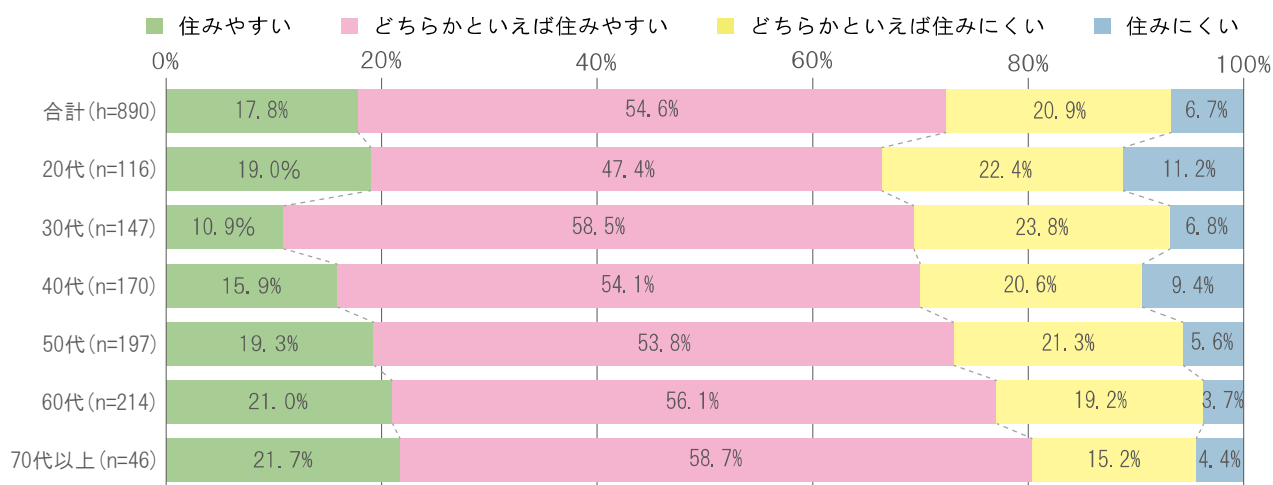
1 住みやすさ

七尾市の「住みやすさ」については、「どちらかといえば住みやすい」が全体の54.6%と最も多く、「住みやすい」(17.8%)と合わせると、7割の回答者が、七尾市を「住みやすい」と評価しています。



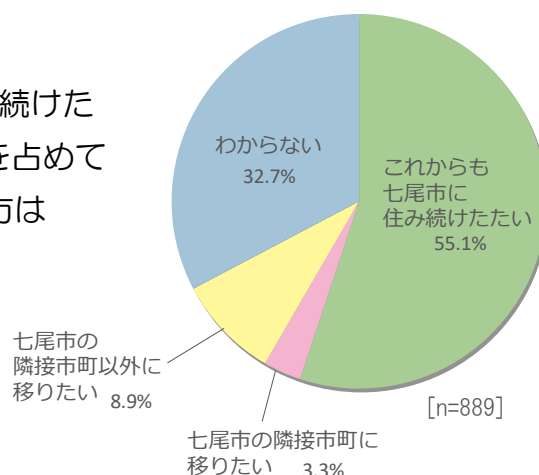
〔年齢別住みやすさ〕

年齢別でみると、「住みにくい」、「どちらかといえば住みにくい」と回答した方の合計は、20代で33.6%と最も多く、次いで30代(30.6%)、40代(30.0%)と続いており、若年層の割合が高くなっています。



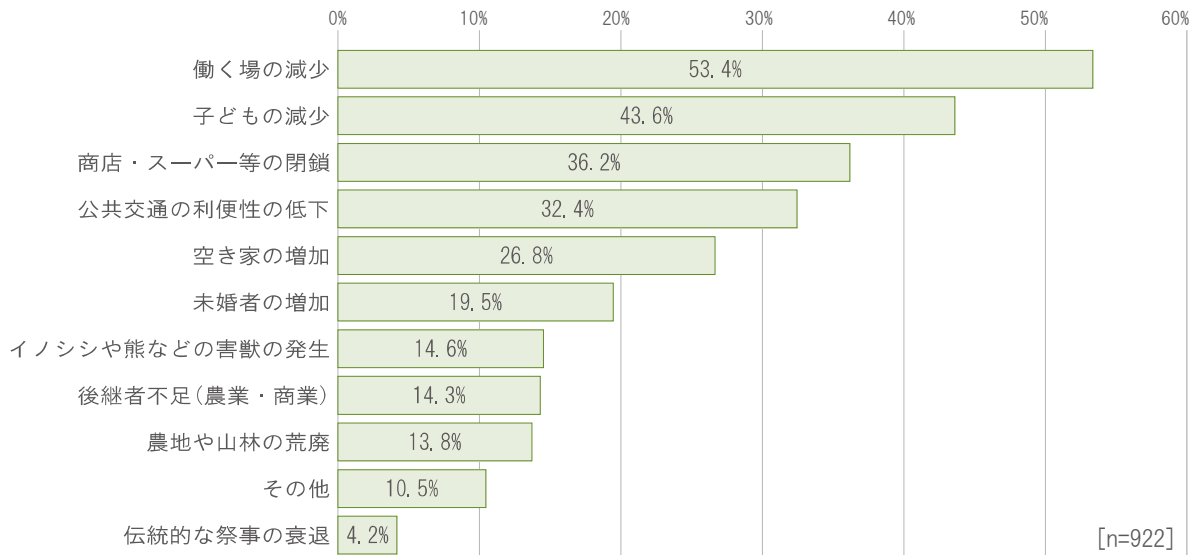
2 定住意向

定住意向については、「これからも住み続けたい」と回答した方が55.1%と半数以上を占めており、七尾市以外に移りたいと回答した方は12.2%と約1割にとどまっています。



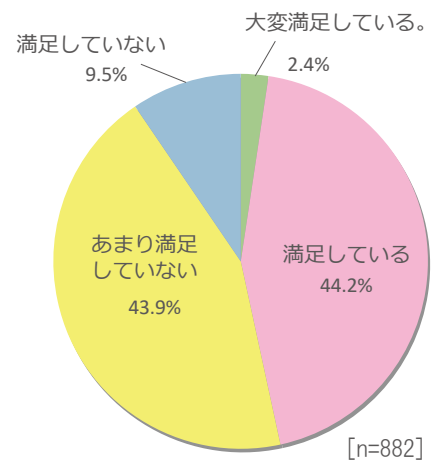
3 七尾市で特に解決すべき問題（複数回答）

- 第1位：「働く場の減少」（53.4%）
- 第2位：「子どもの減少」（43.6%）
- 第3位：「商店・スーパー等の閉鎖」（36.2%）
- 第4位：「公共交通の利便性の低下」（32.4%）
- 第5位：「空き家の増加」（26.8%）



4 暮らしの満足度

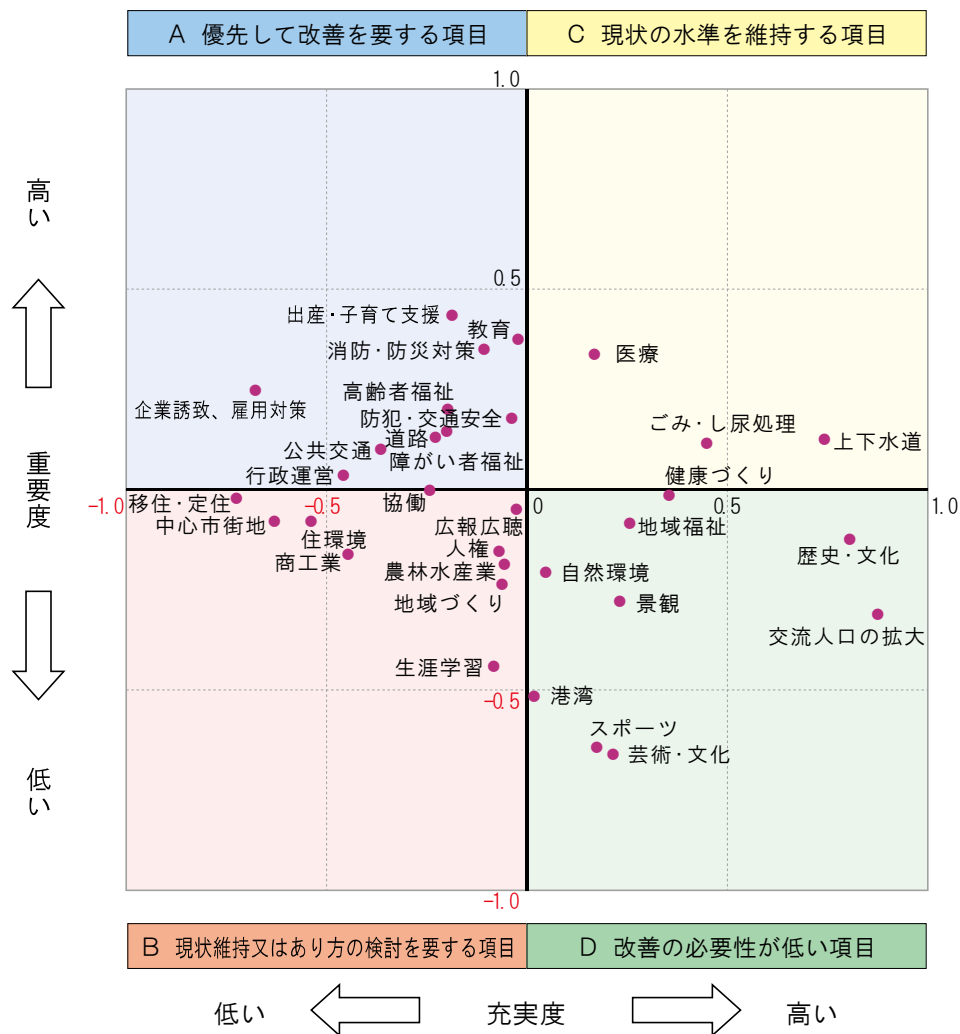
本市の暮らしの満足度については、「満足している」(44.2%)と「あまり満足していない」(43.9%)が、ほぼ拮抗しており、「大変満足している」を加えても、暮らしの満足度は半数に届いていません。



5 施策の充実度・重要度

全32項目の中で、A象限（優先して改善を要する）の項目は、「企業誘致・雇用対策」や「子育て支援」等の若年層を主とした定住施策、B象限（現状維持またはあり方の検討を要する）の項目は、「中心市街地」「商工業」等の賑わい創出関連施策、C象限（現状の水準を維持する）の項目は、「医療」や「ごみ・し尿処理」「上下水道」といった社会基盤、D象限（改善の必要性が低い）の項目は、「スポーツ」「芸術・文化」といった文科関連施策が中心の傾向にあります。

各象限の境界部にある項目のうち、「移住・定住」は、充実度が全項目で最も低いことが注目されます。



※各施策に対する充実度の分布は、「大変充実している」を2点、「充実している」を1点、「あまり充実していない」を-1点、「全く充実していない」を-2点とし、平均を算出。
 ※各施策に対する重要度の分布は、「大変重要である」を2点、「重要である」を1点、「あまり重要でない」を-1点、「全く重要でない」を-2点とし、平均を算出。

〔年齢別充実度ランキング表〕

各年代に共通して「企業誘致・雇用対策」「中心市街地」「移住・定住」「住環境」が低い一方、「交流人口の拡大」「上下水道」は共通して高くなっています。

年齢別に充実度の高い項目をみると、上位5項目には、各年代とも「歴史・文化」「交流人口の拡大」「上下水道」が入る中で、40代と60代以上は「健康づくり」、50代は「地域福祉」が挙げられ、各年代の当面する関心事がうかがわれます。

充実度の低い項目は、各年代とも「企業誘致・雇用対策」が挙げられ、40代未満は「行政運営」、40代以上は「移住・定住」が高いようです。

順位	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1	歴史・文化	交流人口の拡大	交流人口の拡大	交流人口の拡大	上下水道	上下水道
2	上下水道	歴史・文化	歴史・文化	歴史・文化	交流人口の拡大	歴史・文化
3	交流人口の拡大	上下水道	上下水道	上下水道	歴史・文化	健康づくり
4	景観	ごみ・し尿処理	健康づくり	ごみ・し尿処理	ごみ・し尿処理	ごみ・し尿処理
5	ごみ・し尿処理	地域福祉	芸術・文化	地域福祉	健康づくり	医療
6	自然環境	景観	景観	健康づくり	医療	スポーツ
7	芸術・文化	スポーツ	地域福祉	スポーツ	芸術・文化	交流人口の拡大
8	健康づくり	自然環境	ごみ・し尿処理	景観	地域福祉	地域福祉
9	医療	健康づくり	自然環境	芸術・文化	広報広聴	公共交通
10	スポーツ	農林水産業	農林水産業	医療	景観	教育
11	地域福祉	芸術・文化	スポーツ	教育	スポーツ	芸術・文化
12	防犯・交通安全	地域づくり	医療	地域づくり	教育	人権
13	人権	港湾	広報広聴	広報広聴	人権	地域づくり
14	障がい者福祉	人権	地域づくり	防犯・交通安全	防犯・交通安全	防犯・交通安全
15	農林水産業	医療	消防・防災対策	自然環境	道路	広報広聴
16	教育	消防・防災対策	高齢者福祉	農林水産業	協働	消防・防災対策
17	道路	防犯・交通安全	港湾	消防・防災対策	出産・子育て支援	自然環境
18	商工業	教育	教育	港湾	地域づくり	協働
19	高齢者福祉	広報広聴	人権	協働	公共交通	障がい者福祉
20	消防・防災対策	高齢者福祉	出産・子育て支援	人権	消防・防災対策	行政運営
21	広報広聴	出産・子育て支援	防犯・交通安全	出産・子育て支援	高齢者福祉	景観
22	出産・子育て支援	道路	協働	障がい者福祉	行政運営	高齢者福祉
23	地域づくり	障がい者福祉	障がい者福祉	道路	農林水産業	生涯学習
24	生涯学習	商工業	道路	高齢者福祉	自然環境	出産・子育て支援
25	港湾	協働	商工業	生涯学習	障がい者福祉	道路
26	住環境	生涯学習	生涯学習	公共交通	生涯学習	住環境
27	協働	住環境	公共交通	行政運営	港湾	農林水産業
28	行政運営	公共交通	行政運営	商工業	住環境	港湾
29	公共交通	移住・定住	住環境	住環境	企業誘致、雇用対策	企業誘致、雇用対策
30	企業誘致、雇用対策	企業誘致、雇用対策	企業誘致、雇用対策	移住・定住	商工業	商工業
31	中心市街地	中心市街地	移住・定住	企業誘致、雇用対策	移住・定住	移住・定住
32	移住・定住	行政運営	中心市街地	中心市街地	中心市街地	中心市街地

〔年齢別重要度ランキング表〕

各年代に共通して「港湾」「スポーツ」「生涯学習」「芸術・文化」が低い一方、「出産・子育て支援」「医療」は共通して高くなっています。

年齢別に重要度の高い項目をみると、上位5項目には、各年代とも「出産・子育て支援」「教育」「医療」が入る中で、60代以下は「消防・防災対策」、70代は「公共交通」が挙げられ、各年代の当面する関心事がうかがわれます。

重要度の低い項目は、各年代とも「港湾」「芸術・文化」「農林水産業」「スポーツ」が挙げられます。

順位	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1	出産・子育て支援	出産・子育て支援	出産・子育て支援	消防・防災対策	出産・子育て支援	医療
2	教育	教育	消防・防災対策	教育	教育	出産・子育て支援
3	医療	消防・防災対策	教育	出産・子育て支援	消防・防災対策	道路
4	消防・防災対策	医療	医療	医療	医療	教育
5	企業誘致、雇用対策	防犯・交通安全	企業誘致、雇用対策	企業誘致、雇用対策	高齢者福祉	公共交通
6	道路	高齢者福祉	高齢者福祉	高齢者福祉	上下水道	上下水道
7	防犯・交通安全	企業誘致、雇用対策	防犯・交通安全	防犯・交通安全	企業誘致、雇用対策	高齢者福祉
8	ごみ・し尿処理	障がい者福祉	道路	道路	障がい者福祉	企業誘致、雇用対策
9	公共交通	ごみ・し尿処理	障がい者福祉	上下水道	防犯・交通安全	消防・防災対策
10	障がい者福祉	公共交通	ごみ・し尿処理	障がい者福祉	公共交通	ごみ・し尿処理
11	上下水道	行政運営	上下水道	公共交通	ごみ・し尿処理	防犯・交通安全
12	協働	道路	公共交通	ごみ・し尿処理	道路	健康づくり
13	広報広聴	上下水道	協働	移住・定住	行政運営	協働
14	高齢者福祉	住環境	移住・定住	行政運営	健康づくり	商工業
15	移住・定住	協働	行政運営	健康づくり	協働	交流人口の拡大
16	健康づくり	移住・定住	広報広聴	協働	移住・定住	行政運営
17	歴史・文化	広報広聴	住環境	広報広聴	地域福祉	人権
18	地域福祉	健康づくり	健康づくり	地域福祉	広報広聴	障がい者福祉
19	住環境	地域福祉	地域福祉	住環境	商工業	歴史・文化
20	行政運営	人権	歴史・文化	歴史・文化	人権	地域福祉
21	人権	歴史・文化	自然環境	商工業	住環境	広報広聴
22	自然環境	商工業	商工業	人権	歴史・文化	自然環境
23	商工業	自然環境	人権	地域づくり	地域づくり	住環境
24	地域づくり	地域づくり	景観	自然環境	自然環境	地域づくり
25	景観	景観	地域づくり	景観	交流人口の拡大	景観
26	中心市街地	交流人口の拡大	中心市街地	交流人口の拡大	景観	移住・定住
27	交流人口の拡大	中心市街地	交流人口の拡大	中心市街地	農林水産業	農林水産業
28	芸術・文化	農林水産業	農林水産業	農林水産業	中心市街地	中心市街地
29	スポーツ	スポーツ	スポーツ	芸術・文化	港湾	スポーツ
30	生涯学習	生涯学習	生涯学習	スポーツ	スポーツ	生涯学習
31	農林水産業	芸術・文化	芸術・文化	生涯学習	生涯学習	芸術・文化
32	港湾	港湾	港湾	港湾	芸術・文化	港湾

